

# 国際幸福度調査に見る言語障壁

市川 浩

平成二十八年三月二十八日

国連は平成二十四年より世界百五十七國に於ける「幸福」の質を數値化し、その順位を公表し來り、今年は三月十六日「世界幸福度報告書2016」を發表す。内容は國連の示す見解を必ずしも反映するに非ずとするも、多様性に富む「幸福」をば人類普遍の指標と捉へむとするは「地球化」思考の典型とこそ言ふべけれ。國別順位を見るに、一位は丁抹<sup>デンマーク</sup>、以下十位まで 瑞西<sup>スイス</sup>、水島<sup>アイスラント</sup>、諾威<sup>ノルウェイ</sup>、芬蘭<sup>フィンランド</sup>、加奈陀<sup>カナダ</sup>、和蘭<sup>オランダ</sup>、新西蘭<sup>ニュージーランド</sup>、濠州<sup>オーストラリア</sup>、瑞典<sup>スエーデン</sup>と續き、米國13位、獨逸16位、英國23位、佛蘭西32位、伊太利50位の後塵を拜して、日本は53位にて、アジア諸國の内では 新嘉坡<sup>シンガポール</sup>22位、泰33位、臺灣35位、馬來西亞<sup>マレーシア</sup>47位に次ぐと云々。

然らば如何なる數値化によりてかゝる結果となりたりやと閲するに、各國及び地域にて、凡そ三千人を對象の聞取調査にして、GDP per capita, Health years of life expectancy, Social support, Freedom to make life choices, Generosity, Perception of corruption の六項目を對象とす。これ等を原文の英語にて記したる所以は、その意味する所吾等日本人と解釋の相違を明めんとするにあり。但しこの中、GDP per capita と Health years of life expectancy とは夫々一人當りの國內總生産、健康餘命と翻譯して内容も一致す。

次のSocial support は社會的支援と翻譯し得ぬも、かゝる文脈に於ける日本人一般の理解は、社會保障制度の充實度、弱者救濟の法的整備の進捗度などとなるべし。然るに本調査に於ける質問は「もし汝が困難の事態（trouble）に陥らましかば、必要あらば何時にても援けを頼むる親類又は友人ありや否や」にして有り無しの一者擇一の應答を求む。

Freedom to make life choices は人生の選擇の自由と翻譯し、日本社會にては「食ふ爲」には多く實現困難と認識す。質問は「汝の人生に行使せる選擇の自由に満足しゆるや否や」にて一者擇一の應答を求む。

Generosity は「寛大」の意味があり、社會的な寛容度を聯想せしむるも、質問文は前のGDP per capitaに關聯して「汝は先日慈善の爲の金を寄附しきや否や」の間に一者擇一の應答を求め、之が數値化はギャラップ世界輿論調査（GWP）に於ける同じ質問に對する國別平均値との回歸差とす。従ひ、Generosity はこの場合「幸福なる氣前の好さ」なるが、日本人にはかかる習慣無き故、本項目の得點特に低し。

最後のPerception of corruption は瀆職に對する認知度聞取にて、「瀆職は政府及び又は實業界の全般に廣ひりつゆや否や」に一者擇一の應答を求むるも、眞相の把握は誰にも無理なれば、「事實に基かざる推論」の虞あり。

これらの「幸福度」の指標は全般的に日本人には異質に感ぜんるゝに非ひざや。されど上位を占むる北歐諸國は日本人の評價も高く、其の調査の有效性亦認めざるを得ざれば、吾等は「人類普遍」の幸福を追求すべきか、或いは幸福の多様性を守り、豊葦原の瑞穂國、言靈の幸はひ助くる國に生を享くるの仕合せを感謝すべきか、トルストイの言べる「幸福なる家庭は全てよく似たるも、不幸なる家庭は皆夫々に不幸なり」を今日改めて玩味すべき時なり。